

(添付資料)

各事業の実施状況管理個票

(P18~66)

#### 4 各事業の実施状況管理個票

ものづくり基本計画		方針（１）企業の誘致と留置の推進		令和４年度	
事業名	事業１ 企業立地の推進	予算額	492,000 千円		
		決算額	427,610 千円		
事業概要	<p>地域の産業の高度化、活性化及び雇用機会の拡大を図るため、本市の特性を活かした「清水港・ロジスティクス」などの戦略産業の集積や、地方創生の一環である企業の本社機能の移転等による、企業の誘致と留置を推進します。</p> <p>具体的には、工場等の設置に係る用地取得費や設備投資費や事務所の賃借に対する助成を行うほか、本市の立地優位性や利便性、優遇施策等についての情報発信・P R活動を、東京事務所と連携して実施します。</p>	取組状況	事業結果	<p>市外企業の誘致、市内企業の留置に向けて、積極的な企業訪問を実施し、本市の立地優位性・ビジネス環境のP Rや助成制度の情報発信を積極的に行うことで、企業立地の促進に努めている。</p> <p>令和4年度は、テレワークの推進による地方移転ニーズを取り込むため、情報発信や企業訪問等で県や東京事務所と連携し、首都圏からの企業誘致に成功した。</p> <p>引き続き、企業へのヒアリングを基に、ニーズに合わせた助成制度へと見直しを図るとともに、立地に際しての様々な行政手続きに係るワンストップサービスを産業振興課が担うなど、企業に寄り添った支援を実施する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・新規企業立地件数 19件</li> <li>・市内企業訪問 183件</li> <li>・市外企業訪問 129件</li> <li>・企業立地相談件数 317件</li> </ul>	
成果目標	新規企業立地件数 17件				
1	総合計画の位置付け(分野別)	分野 商工・物流	進捗率等 R5.3.31 現在	新規企業立地件数 17件	19件 (達成率：111%)
	産業振興プラン位置付け	政策 次代を担う本市を代表する産業を生み出します	事業評価 次年度に向けた改善点・目標の未達成理由等	<p>コロナ禍により減少していた企業の設備投資意欲も復調しているため、企業訪問等により企業ニーズを把握し工場の立地につなげていく。首都圏企業誘致においては、企業が特に不安視する人材確保のサポート体制を整備し、経済状況等に応じた助成制度の見直しを検討していく。</p>	
		施策 企業の誘致と留置の推進			
担当課等	経済局商工部 産業振興課 企業立地係	その他 (特記事項)			

事業	ものづくり基本計画	方針（１）企業の誘致と留置の推進		令和４年度		
	事業名	事業２ 恩田原・片山土地区画整理事業		予算額	- 千円	
				決算額	- 千円	
	事業概要	東名新スマートＩＣの効果を最大限に生かすため、大谷・小鹿ランドデザインで「工業・物流エリア」に位置付けられた恩田原・片山地区において区画整理手法による都市基盤整備を進め、産業集積方針に基づく企業立地を推進します。	取組状況	事業結果	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 進出企業の誘致活動</li> <li>・新型コロナウイルスの感染拡大により、当初計画していた進出企業の決定に影響が生じたものの、事業コーディネータと連携した企業誘致活動を実施することで企業コースを捉え企業立地の実現を推進した。</li> <li>・令和５年３月末時点で、産業系用途の全13区画中７区画がすでに契約を済ませている。</li> <li>■ 補助制度の整備</li> <li>・産業集積方針に基づく企業の立地を誘導するため、恩田原・片山地区に特化した新たな企業立地補助金制度要綱を制定した。（要綱の施行については、R5年度を予定）</li> <li>■ 局間連携による事業推進</li> <li>・進出企業の誘致活動に併せて、用地の創出が着実に進むよう、都市局が土地区画整理事業の進捗管理等を実施し、局間連携による企業立地実現を推進した。</li> </ul>	
	成果目標	組合、コーディネーターと連携した企業立地の推進				
	総合計画の位置付け（分野別）	分野	商工・物流	進捗率等	R5.3.31 現在	組合、コーディネーターと連携した企業立地の推進
		政策	次代を担う本市を代表する産業を生み出します	事業評価	次年度に向けた改善点 ・ 目標の未達成理由等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・進出を希望する企業がある区画については、着実に立地を実現するために、事業コーディネーターに対して、早期に用地契約の手続きを進めるよう働きかける。</li> <li>・その他の区画については、引き続き事業コーディネーターとの情報交換や用地の情報発信、企業の立地コースの掘り起こしを行い、産業集積方針に沿った企業立地実現を推進する。</li> </ul>
		施策	企業の誘致と留置の推進			
	産業振興プラン位置付け	分野	商工・物流			
		政策	次代を担う本市を代表する産業を生み出します			
施策		企業の誘致と留置の推進				
担当課等	経済局商工部 産業振興課 企業立地係		その他 (特記事項)			

ものづくり基本計画		方針（１）企業の誘致と留置の推進		令和４年度	
事業名	事業３ 地域未来投資促進法「地域基本計画」の推進 （１）「地域経済牽引事業」承認案件の企業立地支援	予算額		- 千円	
		決算額		- 千円	
事業概要	(1)地域未来投資促進法「地域基本計画」に沿って承認した、地域特性を活かして、付加価値の高い事業に取り組む「地域経済牽引事業」のうち、工場建設などの立地が伴う案件に対して、設備投資に係る課税の特例措置や、金融機関の低利融資制度などの優遇制度を活用して、効果的に企業立地を支援します。	取組状況	事業結果	<ul style="list-style-type: none"> <li>■「地域経済牽引事業計画」承認件数 「静岡市地域基本計画」に基づく承認件数：０件 「静岡市戦略産業等支援強化地域基本計画」に基づく承認件数：７件</li> <li>■「地域未来投資促進税制」の活用 ・課税特例のための先進性確認申請件数：９件</li> <li>■「地域経済牽引事業」の案件発掘 ・令和２年度から「電気機械器具製造業」や「食品・化粧品製造業」等の５分野の業種を対象に、上記事業計画の承認により市街化調整区域内への企業立地を可能とする新たな基準が設けられたため、新たな設備投資を計画している企業に対し、同計画の作成を促した。 ・加えて、地域経済牽引事業計画を作成する企業に対しては、個別に作成支援を実施した。</li> </ul>	
成果目標	地域経済牽引事業計画承認件数：１０件				
3 総合計画の位置付け(分野別)	分野 商工・物流	進捗率等	R5.3.31 現在	地域経済牽引事業計画承認件数：１０件	７件 (達成率：70%)
	政策 次代を担う本市を代表する産業を生み出します	事業評価	次年度に向けた改善点・目標の未達成理由等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・成果指標の件数を満たさない結果となったことから、企業訪問等で、設備投資や新規立地を計画している企業に対して個別に制度説明を行い、より一層、新規案件の発掘に注力していく。</li> <li>・計画作成相談を受けた企業に対して、個別に企業訪問等を行い企業と直接対話をしながら作成支援を行う等、きめ細やかな対応を実施する。</li> <li>・地域基本計画に基づき共同して支援する立場にある支援機関の優遇制度なども、積極的に企業に紹介するなどのマッチングを行う。</li> </ul>	
	施策 企業の誘致を留置の推進				
産業振興プラン位置付け	分野 商工・物流				
	政策 次代を担う本市を代表する産業を生み出します				
	施策 企業の誘致を留置の推進				
担当課等	経済局商工部 産業振興課 企業立地係	その他 (特記事項)			

事業	ものづくり基本計画	方針（１）企業の誘致と留置の推進		令和４年度		
	事業名	事業３ 地域未来投資促進法「地域基本計画」の推進 （２）「重点促進区域」の開発の実現化	予算額	- 千円		
			決算額	- 千円		
	事業概要	（２）企業立地の受け皿となる用地確保のための取組として、地域基本計画の中で、重点的に地域経済牽引事業の促進を図る「重点促進区域」に位置付けた開発候補地に対して、規制の特例措置の活用や開発に向けた関係部署との協議・調整などを実施し、開発の実現化を図ります。	取組状況	事業結果	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 進出検討企業の発掘 <ul style="list-style-type: none"> <li>・市及び県HPで用地情報を公開し、PRを行った。</li> <li>・進出を希望する企業ニーズの掘り起こしを実施した。</li> </ul> </li> <li>■ 地域未来投資促進法に基づく支援制度の周知 <ul style="list-style-type: none"> <li>・企業訪問等で、設備投資にかかる補助金や立地の相談があった際に、地域未来投資促進法に基づく各種支援制度の説明・周知を行った</li> </ul> </li> <li>■ 開発に係る関係部署との協議・調整 <ul style="list-style-type: none"> <li>・関係部署を集めての合同会議や個別の打合せを実施し、開発に当たっての課題抽出や解決手法等の検討を進めた。</li> </ul> </li> </ul>	
	成果目標					開発の実現に向けた関係部局との協議・調整
	3	総合計画の位置付け（分野別）	分野	商工・物流	進捗率等	R 5. 3. 31 現在
			政策	次代を担う本市を代表する産業を生み出します	事業評価	開発の実現に向けた関係部局との協議・調整
施策		企業の誘致と留置の推進	次年度に向けた改善点 ・ 目標の未達成理由等			
産業振興プラン位置付け	分野	商工・物流		・個別説明やチラシの配布、ホームページ等への掲載による用地情報や、開発に係る新基準の積極的な情報発信により、進出を検討する企業ニーズの掘り起こしを引き続き実施する。 ・企業訪問等で、設備投資や立地ニーズの高い企業に対し、積極的にアプローチを図る。 ・企業の進出が具体化した案件については、開発許可に向け関係部署との協議・調整を実施し、開発の実現化を図る。		
	政策	次代を担う本市を代表する産業を生み出します				
	施策	企業の誘致と留置の推進				
担当課等	経済局商工部 産業振興課 企業立地係	その他（特記事項）				

事業	ものづくり基本計画	方針（２）新市場、販路開拓に対する支援		令和４年度			
	事業名	事業４ 全国規模等の見本市への出展助成等		予算額	8,400 千円		
				決算額	8,315 千円		
	事業概要	<p>中小製造事業者の販路開拓支援や製造業の振興・発展を図るため、全国的な規模の展示会・見本市等への出展や開催に対して助成します。</p> <p>また、「ものづくり産業が盛んなまち」として本市の存在感を高めるため、本市経済を支える基盤産業及び本市を牽引していく可能性を秘めた戦略産業に該当する企業と共同で国内最大の展示会である「機械要素技術展」に出展し、本市ものづくり産業のPR及び市内企業の販路開拓支援を実施します。</p>		取組状況	事業結果	<p>①大規模展示会出展等事業補助金</p> <p>■申請件数：42件 名刺交換数（確認できたもの）6,509件 商談に進んだ件数 636件</p> <p>■新型コロナウイルスの影響により、海外展示会への出展を行った企業はなし。</p> <p>■金融機関を中心に補助金の周知活動を実施し、助成制度の活用促進に努めた。</p> <p>②大規模展示会共同出展事業</p> <p>■出展展示会：第27回機械要素技術展 ■会期：令和４年６月22日～24日 ■共同出展社数：7社</p>	
	成果目標	商談に進んだ割合（名刺交換件数のうち商談に進んだ件数の割合）①10.7% ②11%					
	4	総合計画の位置付け（分野別）	分野	商工・物流	進捗率等	R5.3.31 現在	<p>商談に進んだ割合（名刺交換件数のうち商談に進んだ件数の割合）①10.7% ②11%</p> <p>①9.8% (達成率：91.6%) ②4.3% (達成率：39.1%)</p>
			政策	世界・全国に挑戦する中小企業の振興を図ります			
		施策	新市場・販路開拓に対する支援	事業評価	<p>次年度に向けた改善点・目標の未達成理由等</p> <p>① 令和５年度からは新商品開発の先にある販路開拓まで総合的に支援する新制度を開始する。アフターコロナに向け、主要課題である新商品開発や販路開拓に対する企業の意欲は更に高まっているため、金融機関等の支援機関への周知を実施し、市内企業の新制度への認知度向上を図る。</p> <p>② 今回商談に進んだ割合は目標を下回ったが、これは新型コロナウイルス感染症の影響を受け減少していた市ブースへの来場者数が増加し、名刺交換数が前年度比３倍以上になったことが原因と推察できる。</p> <p>当事業において販路開拓の機会は展示会の会期期間に限られるが、当事業によって新規商談が成約となった事例もあり、企業からは貴重な販路開拓の機会であるとの声を得ている。この機を逃すことなく有効に活用してもらうため、今後も時宜を得た情報提供を行うなどして、企業が商談しやすい環境づくりに努める。</p>		
	分野	商工・物流					
	産業振興プラン位置付け	政策	世界・全国に挑戦する中小企業の振興を図ります				
担当課等	経済局商工部 産業振興課 工業振興係		その他 (特記事項)				

事業	ものづくり基本計画	方針（２）新市場・販路開拓に対する支援		令和４年度		
	事業名	事業５ 首都圏におけるプロモーション強化 （１）アンテナショップ開設事業	予算額	- 千円		
			決算額	- 千円		
	事業概要	本市のものづくり産業及び地域資源を活用した魅力ある商品等をPRするため、大消費地である首都圏においてプロモーション活動や販路開拓支援等を実施します。  (1)アンテナショップ開設事業 しずおか中部５市２町中核連携都市圏事業として首都圏にアンテナショップを開設し、特産品等をPRするとともに、テストマーケティングの場として販路開拓支援を行います。	取組状況	事業結果	令和３年度に終了	
	成果目標	0				
	5	総合計画の位置付け(分野別)	分野	商工・物流	進捗率等	R5.3.31 現在
			政策	世界・全国に挑戦する中小企業の振興を図ります	事業評価	次年度に向けた改善点・目標の未達成理由等
施策		新市場・販路開拓に対する支援				
産業振興プラン位置付け	分野	商工・物流	世界・全国に挑戦する中小企業の振興を図ります	事業評価	次年度に向けた改善点・目標の未達成理由等	
		政策				
	施策	新市場・販路開拓に対する支援				
担当課等	経済局商工部 産業政策課 企画係	その他(特記事項)	-			

事業	ものづくり基本計画	方針（２）新市場・販路開拓に対する支援		令和４年度				
	事業名	事業５ 首都圏におけるプロモーション強化 （２）ホビー産業育成支援事業		予算額	2,655 千円			
				決算額	2,571 千円			
	事業概要	本市のものづくり産業及び地域資源を活用した魅力ある商品等をPRするため、大消費地である首都圏においてプロモーション活動や販路開拓支援等を実施します。  (2)ホビー産業育成支援事業 本市が全国に誇るホビー産業を戦略産業として選定し、「ホビーのまち静岡」の認知度向上を図るため、首都圏にてプロモーションイベントを開催します。	取組状況	事業結果	クリスマスフェスタのPRに「しずチカ」を活用し、模型業界・出展者と連携し、「クリスマスフェスタ」「ホビーのまち静岡」のPR展示を行った。 昨年度に引き続き、市内観光施設にて業界と連携して模型の世界首都静岡と静岡ホビーショーのPRイベントを開催した。 「模型の世界首都・静岡」パンフレットを6000部印刷した			
	成果目標	「ホビーのまち静岡」の認知度 30%						
	5	総合計画の位置付け(分野別)	分野	観光・交流	進捗率等	R 5. 3 .31 現在	「ホビーのまち静岡」の認知度 30%	83.8% (達成率：279%)
			政策	静岡のブランド力ある地域資源を活用した観光を推進します	事業評価	次年度に向けた改善点・目標の未達成理由等	引き続き、模型関係団体や模型メーカーの協力を得て、内容、時期及び対象を見極め、効果的なシティブロモーション推進に取り組んでいく。	
施策		模型の世界首都・静岡を活かした魅力づくり						
産業振興プラン位置付け	分野	観光・交流						
		政策	静岡のブランド力ある地域資源を活用した観光を推進します					
		施策	模型の世界首都・静岡を活かした魅力づくり					
担当課等	経済局商工部 産業振興課 プラモデル振興係		その他 (特記事項)					



事業	ものづくり基本計画	方針（２）新市場・販路開拓に対する支援		令和４年度		
	事業名	事業５ 首都圏におけるプロモーション強化 （３）伝統工芸品等の展示販売会	予算額	5,411千円		
			決算額	5,345千円		
	事業概要	<p>本市のものづくり産業及び地域資源を活用した魅力ある商品等をPRするため、大消費地である首都圏においてプロモーション活動や販路開拓支援等を実施します。</p> <p>(3)伝統工芸品等の展示販売会 本市伝統工芸品等のPRや販路開拓支援、消費者ニーズの把握等を目的とし、都内（御徒町の「2k540」やJR新宿駅西口広場等）で展示販売会を開催します。また、本市が直接出展する全国規模の見本市等(首都圏以外も含む)においても積極的に伝統工芸品のPRに努め、販路開拓の支援に努めます。</p>	取組状況	事業結果	<p>■静岡市特産品東京展示会（新宿西口） 開催日程：令和４年10月18日（火）～20日（木） （３日間） 出展者：地元伝統工芸等会場産業従事者等25者 出展内容：木製家具、小木製品、漆器、和染、下駄等</p>	
	成果目標	(新宿展) 売上金額 4,415千円（コロナ禍であることを踏まえてR1年度目標比80%で策定）				
	5 総合計画の位置付け(分野別)	分野	商工・物流	進捗率等	R5.3.31 現在	(新宿展) 売上金額 4,415千円（コロナ禍であることを踏まえてR1年度目標比80%で策定） 4,000千円 (達成率：90.6%)
		政策	世界・全国に挑戦する中小企業の振興を図ります	事業評価	次年度に向けた改善点・目標の未達成理由等	<p>■コロナウイルスが落ち着き3年ぶりの開催となった。静岡の地場産品を多くの人に知ってもらい良い契機となった。コロナも関係してか、令和元年は10500人であった来場者も8500人程度に減ってしまったので、通りがかった人にかたしてイベントの存在を知ってもらうかが大事になる。また来場者の多くが60代以上で若年層の来場が少ない。若年層にも広げていくためにSNS等を活用するなど広報手段の再検討も必要となる。</p>
		施策	新市場・販路開拓に対する支援			
	産業振興プラン位置付け	分野	商工・物流			
		政策	世界・全国に挑戦する中小企業の振興を図ります			
施策		新市場・販路開拓に対する支援				
担当課等	経済局商工部 産業振興課 地場産業係		その他 (特記事項)			

事業	ものづくり基本計画	方針（２）新市場・販路開拓に対する支援		令和４年度		
	事業名	事業６ 地場産品の販路開拓・販売促進 (1)駿府楽市によるP R・販売促進支援		予算額	22,677千円	
				決算額	22,201千円	
	事業概要	<p>伝統工芸品を含む地場産品の販路開拓と販売促進を支援することで、地場産業関係事業者の収益性の向上に努めます。</p> <p>(1)駿府楽市によるP R・販売促進支援 JR静岡駅構内に立地する駿府楽市で、本市地場産品を市民や来静者へP Rし、地場産品の愛用促進と販路開拓を押し進めます。</p>		取組状況	<p>事業結果</p> <p>■JR静岡駅アスティ静岡西館「駿府楽市」内の静岡市特産品展示コーナーにおいて、年間27回の展示会を開催した。 ・R4来場者数：294,200人 ・隣接する駿府楽市での工芸品のR4年間売上金額：40,770千円</p> <p>■静岡市特産品展示コーナーに係る運営業務委託、空調保守、清掃、玄関マット賃借の実施</p>	
	成果目標	隣接する駿府楽市での工芸品の年間売上金額 31,500千円				
	6	総合計画の位置付け(分野別)	分野	商工・物流	進捗率等	R5.3.31 現在
政策			世界・全国に挑戦する中小企業の振興を図ります			
施策		新市場・販路開拓に対する支援	事業評価	次年度に向けた改善点・目標の未達成理由等	当初目標の売上金額を大幅に上回ることができたが、コロナ禍以前と比較すると、回復できていない。引き続き新型コロナウイルス感染症対策を図り、来場者が安全に鑑賞・購入できる環境を整備するとともに、デジタルサイネージの導入や展示コーナーの改修を実施していく必要がある。	
分野	商工・物流					
産業振興プラン位置付け	政策	世界・全国に挑戦する中小企業の振興を図ります				
担当課等	経済局商工部 産業振興課 地場産業係		その他 (特記事項)			

ものづくり基本計画		方針（２）新市場・販路開拓に対する支援		令和４年度	
事業名	事業6 地場産品の販路開拓・販売促進 (2)「しずおか特産品まつり」開催による販売促進支援	予算額	3,464 千円		
		決算額	3,816 千円		
事業概要	<p>伝統工芸品を含む地場産品の販路開拓と販売促進を支援することで、地場産業関係事業者の収益性の向上に努めます。</p> <p>(2)「しずおか特産品まつり」開催による販売促進支援 多くの市民が行き交う青葉シンボルロードにおいて、職人自らが実演販売・展示販売を行うことで、多くの市民の目に触れる機会を創出し、本市の優れた伝統工芸品に対する市民の誇りと愛情を醸成します。</p>	取組状況	事業結果	<p>■新型コロナウイルスの影響が前年度よりも減少したが、折込チラシ数を増加したこと、ワークショップを充実させたことなどが功を奏し、GW最終日で天気が良かったことも重なり、春の市では目標を大幅に上回る来場者数を達成した。秋の市では、周辺の人通りが少なかったこともあり目標を下回る結果となった。 来場者数：春の市10,000人、秋の市2,650人 冬の市2,000人</p> <p>■来場者には、工芸品が身近に安く買えるイベントとして定着しており、リピーターの割合が高かった。</p> <p>■初めて出展した大神楽祭は、「オクシズマルシェ」のほか「さわやかウォーキング」の開催、神社境内に開設された「大河ドラマ館」「同ギフトショップ」に好天が重なり、人通りは多かった。そのため、目標の来場者数を達成することが出来た。しかし来年度以降、大河ドラマ館やほかのイベントがなかった場合、雨が降った場合出展ができないため、次年度以降開催可否を含めて検討が必要となる。</p>	
成果目標	来場者数 4,000人（春・秋） 2,000人（冬）				
6	総合計画の位置付け（分野別）	分野 商工・物流	進捗率等 R5.3.31 現在	来場者数 4,000人（春・秋） 2,000人（冬）	春の市10,000人（達成率：250%） 秋の市2,650人（達成率：66%） 冬の市2,000人（達成率：100%）
	政策	世界・全国に挑戦する中小企業の振興を図ります	事業評価 次年度に向けた改善点・目標の未達成理由等	<p>新型コロナウイルスの影響下でも、定着的なイベントとして認識されるよう、コンスタントに事業を継続していく必要がある。また、PR要素が不足しているとの課題があり、看板などの製作を進めた結果スタイリッシュなデザインとなり、一定の効果があつたと見受けられる。事前にイベントを周知する必要があつたが、思うように周知ができておらず、今後の課題である。</p>	
	施策	新市場・販路開拓に対する支援			
産業振興プラン位置付け	分野 商工・物流				
政策	世界・全国に挑戦する中小企業の振興を図ります				
施策	新市場・販路開拓に対する支援				
担当課等	経済局商工部 産業振興課 地場産業係	その他 (特記事項)			

事業	ものづくり基本計画	方針（２）新市場・販路開拓に対する支援		令和４年度		
	事業名	事業６ 地場産品の販路開拓・販売促進 (3)「産業フェアしずおか」開催補助金		予算額	14,550 千円	
				決算額	14,550 千円	
	事業概要	<p>伝統工芸品を含む地場産品の販路開拓と販売促進を支援することで、地場産業関係事業者の収益性の向上に努めます。</p> <p>(3)「産業フェアしずおか」開催補助金 産業フェアしずおかの開催に対して助成することで、伝統工芸品の良さを再認識してもらい、「買ってもらい（販売促進）」、「販路を拡大」することにより、伝統工芸品を中心に地場産品の振興を図ります。</p>		取組状況	事業結果	<p>■来場者数：14,500人</p> <p>■コロナ禍での3回目の開催となったが、来場者数は昨年度の半分程度に留まった。徹底した新型コロナウイルス感染症対策のもと産業フェアしずおかを開催したことで、本市の地場産品をPRすることができた。</p>
	成果目標	来場者数32,000人				
	6	総合計画の位置付け(分野別)	分野	商工・物流	進捗率等	R5.3.31 現在
政策			世界・全国に挑戦する中小企業の振興を図ります			
施策		新市場・販路開拓に対する支援	事業評価	次年度に向けた改善点・目標の未達成理由等	新型コロナウイルス感染症の対策や若者の現金離れを踏まえてキャッシュレス決済の導入や地場産業ゾーンに特化した満足度調査等が必要である。	
産業振興プラン位置付け	分野	商工・物流				
	政策	世界・全国に挑戦する中小企業の振興を図ります				
担当課等	経済局商工部 産業振興課 地場産業係		その他 (特記事項)			

事業	ものづくり基本計画	方針（２）新市場・販路開拓に対する支援		令和４年度		
	事業名	事業７ 中小企業の海外展開に対する支援 (1)国際食品見本市の出展等による支援		予算額	5,132 千円	
				決算額	5,000 千円	
	事業概要	(1)国際食品見本市の出展等による支援 市内中小企業等の海外展開に際し、国際食品見本市の出展や海外販路を有する国内商社との個別商談会等の開催を通じて、直接輸出、間接輸出の両面から独自で取り組んでいけるよう支援します。		取組状況	事業結果 国際食品見本市に関しては1事業者がエントリーしたものの、審査で不採用となり出店中止。国内商社との個別商談会に関しては、台湾の大手雑貨店及びカフェにてテスト販売、営業代行、オンライン商談を実施した。	
	成果目標	商談実施件数 36件				
	7	総合計画の位置付け(分野別)	分野 商工・物流	進捗率等 R5.3.31 現在	商談実施件数 36件	38件 (達成率：106%)
		産業振興プラン位置付け	政策 世界・全国に挑戦する中小企業の振興を図ります	事業評価 次年度に向けた改善点・目標の未達成理由等	R4年度よりテスト販売時に正規通関を通すことで、テスト販売後の継続取引をバイヤーから希望された際に、スムーズに継続取引が可能となった。またオンライン商談や営業代行にて2件商談が成立、その他継続的に商談を行っている事業者が数社。しかし、海外輸出の手続等が全く分からない事業者も多いため、今年度も商談が続いている事業者については営業代行及び、コンサルティングを実施し、商談制約をサポートしていく。	
施策 新市場・販路開拓に対する支援						
分野 商工・物流	政策 世界・全国に挑戦する中小企業の振興を図ります	施策 新市場・販路開拓に対する支援				
担当課等	経済局商工部 産業振興課 中小企業支援係		その他 (特記事項)			

事業	ものづくり基本計画	方針（２）新市場・販路開拓に対する支援		令和４年度				
	事業名	事業７ 中小企業の海外展開に対する支援 (2)海外で開催される見本市への出展助成等		予算額	8,400千円			
				決算額	8,315千円			
	事業概要	(2)海外で開催される見本市への出展助成等 中小製造事業者の海外における販路開拓支援や製造業の振興・発展を図るため、海外で開催される展示会・見本市等への出展や開催に対して助成します。		取組状況	事業結果 大規模展示会出展等事業補助金 ■申請件数：42件 ■うち、海外展示会への出展を行った企業数はなし。 ■金融機関を中心に補助金の周知活動を実施し、助成制度の活用促進に努めた。			
	成果目標	商談成約率（名刺交換件数のうち商談に進んだ件数の割合）-%						
	7	総合計画の位置付け（分野別）	分野	商工・物流	進捗率等	R5.3.31 現在	商談成約率（名刺交換件数のうち商談に進んだ件数の割合）-%	—%
			政策	世界・全国に挑戦する中小企業の振興を図ります				
施策		新市場・販路開拓に対する支援						
産業振興プラン位置付け	分野	商工・物流	事業評価	次年度に向けた改善点・目標の未達成理由等	令和４年度においては、新型コロナウイルス感染症の影響で宣言されていた海外渡航の制限等が緩和された部分もあったものの、国内よりも更に費用面等で出展のハードルが高い海外展示会への出展に対しては企業が慎重にならざるをえず、令和２～３年度と同様に海外展示会に出展する企業がなかった。令和５年度以降については、海外渡航に関する制限の状況等を確認しつつ、海外展開に興味を持つ企業に対し、ジェトロ静岡貿易情報センターなどと連携し海外展開に係る支援情報などの情報提供を行っていく。			
		政策				世界・全国に挑戦する中小企業の振興を図ります		
		施策				新市場・販路開拓に対する支援		
担当課等	経済局商工部 産業振興課 工業振興係		その他 (特記事項)					